

雷 の女戦士図鑑4

Adult Only

月神図鑑

LIGHTNING HEROINE 4

ARTWORK





ゲルル...

ガ

ミッ...

ゲルル...

ウエヒヒヒ...
いい格好だな精騎族のカロラよ...
堪らなくそそる肉体だ...

くう...女の子を触手で
縛り上げるなんて
いい趣味ね...

クィッ

げしよしよしよ……
敗者は大人しく……
犯されるのがならいでゲン

ムルル…

ええええ！

こんなの……
グロテスクな奴に
辱しめたくないで
受けたくない！



ひゃひゃー!
綺麗なお〇んじだあ……

うわあ……
もう……めめて……

ヌル……

チュル……

く……

ヌ
ヌ
ヌ……

クイッ!



ヤァァッ!

ああ、いい趣味だろ？
こんな姿を見ると
魔羅がたぎってくるんだ……
こんな風にな……

うっ……
そんな汚らしいモノ
見せつけないでよ……

ズズズ……

うおおお……ほっほう……
なんと極上の隆肉なんだ……
さすがは美女精騎族の力○うよ……

あぐあつ……
うづうづ……

ズツツツツツ…

ヤァァ...

ぬらぬら...
それおれ...子宮の奥まで
抜き挿しを愉しませて貰おう...

いやあ...
お腹の中まで凌辱されちゃっ...

ズポッ

ズポッ♡

ズポッ

ズポッ♡



うほお……我儘できぬ……
そりやそりや……
魔獣精液祭りだあ……

いやあああああ……！

駄目え……射精しないでえ……

ビクッ
ビクッ

ビュルッ
ビュルッ
ビクッ！
ビクッ！



ふうふうふうふう
想像以上に具合の良い膾肉であった……
ウエヒヒヒ……

ハ
ア……

ハ
ア……

ド

ロオ……

はあくあくはあく
こんなスケベ魔獣に
いのように犯さるなんて……





アハハ...

アハ...

アハ...

バカっ！放せっ！
魔獣なんか
犯されてた
まにまに
さるもん
ですか！

おいおい...暴れるなっ
しこやか
てれから
やるとい
いうのに

アハハ...

アハッ!



△ヒヨツス!
これは美味そうな
おのんこだあ……

バウわあああつ!
バカバカやめなさいよっ!

アッ!

ドキ

ドキ

ドキ

アッ!



ハア...

ハア...

うああああつ!
この最低のゲス野郎!

こんな綺麗な精騎族の女を
犯せるなんて極上の幸せ!

アツキユ...

アツキユ...

アツキユ...

アツキユ...

アツキユ...



ヤアアア!

ビクウ!

嫌や、
あやめ
あめ
アア
アア

ドムッ!

もう限界だあつ!
ムヒヨツス!

ドムッ!

ビクウ!



ハア...

ハア...

ヒクーン...

ハア...

ヒクーン...

どろろ...

ウエヒヒヒヒ.....
気持ち良かったせえ.....

ぼあはあはあ.....
なんて自分勝手な
好色魔獣なの.....

ヌチャッ.....

ちよつと、いい加減に
しなむらぶらぶー!

ヤ
アア..!

ウエヒヒヒ.....
美味そうだな.....
今度はバツクから頂くぞ.....

ニユル...

ニユル...

ニユル...

ニユル...

クチュ...

クチュ...



それは出来ない相談だ……
こんなスケベない肉体を
前にして犯さずにいられようか……

このスケベ魔獣！
変態！ゲス野郎！

イヤア……

ヌッ……

ヒクッ……

ヌッ……



うほおおおおお……
口腔内も膣内もなんと気持ちの
良いことか……

うヴオ……
くぶぶう……

ズ
チュツ

ズ
チュツ

ズ
チュツ

ズ
チュツ

ズ
チュツ

ズ
ツ





おほおっ!
イクぞおおおっ!

きいひやああああ!

ドッ

ドッ

ギョッ

ドッ

くう……こんな拘束台に晒すなんて
首でも刎ねる気がしらう？



くう……

へへ……
げんなりな物はない事
するものか

……魔獣達よ
皆出て来て
見てやんな……

ダラ……





げへへへ……
い尻だ……
い付きたくなるぜ……
食……

ビロ〜♡

生憎と見世物だ……
魔獣の子孫を作る……
公開実験シヨ一の……
始まりだぜ……



ぞぞ……

ちよっ……
何をする気よ……



やめてっ！
見ないでっ！
見世物じゃないわっ！

マイ

うほおおお……
コイツは大当たりの
膾肉だああ……
思わず射精……
しかけたぜ……

ズズズ……♡



イヒヒヒ……
精騎族の娘が
マ○ネロに
犯されているぜ

ビクッ!



イヤあああ！ オ……♡

あアッ！入ってくる……
魔獣の肉棒が……
あたしのアソコに
侵入してくる……

お……♡
る……ん!



ウゲ...

トグ...

アエ
〇〇
ファン
ア.....
助けてえ.....

キシキシ.....
公開生セツクスは
迫方あるなあ.....

ゆさっ♡

ゆさっ♡

俺モ
アノ女ト
ヤリテエ〜

どっぴりしたっ？どっぴりしたっ？
さっきまでの威勢は？

（戦闘で）やられたら
（凌辱で）やり返す.....
倍返しだっ！

ミユポッ！

ミユポッ！

ミユポッ！

ミユポッ！

オホツ…ウウウ…
魔獣汁…
射精するぜえ…

ドグッ!

ドグッ…

ビクッ!

ヤアアア…!

嫌アアア!
ナカに…
瞳内に…
射精…
しないでえ!

グググ…

グググ…



フウ

ふうふう
ふうふう
精騎族女の子壺に
魔獣精液をたらふく
注いでやっただぜえ

ドロ...



ア...

ア...

しゅしゅ...

もう、嫌ああ...

あああ...

あああ...

イイモン
見せて
貰ったあ...

ふえ〜ん!
気持ち悪いよぉ〜
放してよぉ〜!

アアア...

ゲ

イヤ!

ア...♡

ウエヒヒヒ.....
可愛い顔して
討伐に来るとは勇ましい.....
ご褒美に可愛がってやるし.....



ひいひいっ！
まさかソシをあたしに
入れる気じゃあないでし
ょうねっ！

アッ！

んんん...

ヌヌ...

ウエヒヒヒ.....
そのままかだよ.....
今からそのぶっくりおんこに
又チュツと入れてあげるからね.....



いやあああああつー！

やめてっやめてっ！
おんちゃん引き抜いてえっ！

アアアアア！

ビクッ！

グチュチュ……

ビクッ！

おふう~~~~
これは……なんてえ
気持ちのいいおんこだ
フルボツのキいちまうぜ……



はあはあはあ……
酷いよ……魔獣の精子
いっぱい注がれちゃった……

ハア……
ハア……

ド
ロオ……

ウエヒヒヒ……熱くてプリプリの
魔獣精液……いっぱい射精したぜ……



げしよしよしよ……
俺様に勝とうなど
十年早いぞゲソ……

くう……!!
こんなフザケタ奴に
負けるなんて……

ぐぐ……

ゲグ

メリュリュ……



まずはお尻の割れ目で
ぷっくくりお肌の感触を楽しむでゲソソっ
おほおお………尻コキ最高っ！

ズリ…

ズリ…

いやああ………
きい気持ち………
悪いよお………

ズズ…



なげしよお〜〜〜!!
なんとも気持ちいい〜い膣肉じゃないか!

ぬみぬみ...

いやあ〜〜!!
何よこイツ!

ビクッ

ビクッ!



イゲしよしよっー!
イクでゲソ!

ポッ
ポッ

ポッ
ポッ

ビクッ!

いやあああっー!

まてるっ……
子宮の奥に
射精されてるっー!

アアア...



ひゃひゃっ！これはいい……
柔らかい腔肉が俺のペニス触手を
締め付けてくるぞお……

うう……くうう……
魔獣子のポなんかに
負けたりしないんだから……

ヒクン！

ヌヌヌ……

ググ……

ひゃひゃひゃひゃっ！
清纯な顔をして淫乱な肉体をしておるわ！
ピストン運動が止まらないぜえ！

あくう！
ひいあああつ！

リア...

リア...

ズホッ

ズホッ

ズホッ

ズホッ

クチュッ

クチュッ



うひいはいくらぐぐ！
最高に具合が良かったぜええ！

うごうごう……
やっぱり魔獣子のポには
勝てなかつたよお……

ゴポッ……

どろろ……

ゴポ……



ぐへへへへへ.....
イ○タちやんの大事なアソコも
お尻の穴のシワまで丸見えだあ.....

ぎゅっ!

むちゅん♡

くっ.....
女の子を縛り上げて
秘部を覗きこむなんて
ゲスの極みね.....



ぐへっ……
可愛いお口も
ぶっくりおま○んじも
美味しそうだあ……

ズズ……

ちよつと！
この触手を減にしてよ
この触手を解きなわいらー！

ズズ……



ウブッ!

うおおお.....
口腔内も膣肉内も
ぬくるぬくるの
ぐちゅぐちゅだあ

ズブッ!

ううううー!
くはううううー!

クッ クッ...

そりゃあー！
魔獣汁祭りだああー！

ビクッ！

ビュッ

ひーまのやあああー！

ビュッ

ビクッ！

ビュッ



ぐへへへへへ……
汁化粧で一段と
猥らな美少女になつたぜえ……

ハア……

ハア……

くうううう……
こんな得体の知れない
触手モンスターに
犯されるなんて……

と

るオ……

ゴポ

ゴポ



ふふふふ……
さあ、王女よ……その麗しい唇で
我が肉筒を慰めてもらおうか……
うっ……

なんて雄大な大きさの肉棒かしら……

う……

ドキ……

ドキ……

オニー……



ちゅっ……はむ……
くちゅちゅ……

おほう……
さすが王族の高貴な唇……
柔らかく……温かい……
上級のシルクのような……

ハム…

フュ…

ぷ
るん♡



あぶっ……くびくび……ちゅっ
（お口に頬張りきれない……）

おおおうっ……
柔らかく濡れた口腔内だ……
思わず果てそうになるほどの
快感だぞ……王女よ……

ハア……ハア……

ちゅっ……

ちゅっ……

ぶっ……

ぶっ……



くちゅめ……くちゅびゅ……くはぁっ！
(そんな「……激しく……はれたら……」)

た、溜まらぬ……
思わず……野生の獣のよう「
腰を振ってしまおう……」

ニア……ニア……

くちゅ……くちゅ……

ユザン ユザン

くちゅ……くちゅ……

グ……エ……





うおおお……おう……
口の中であまじい……
りゅりゅ……あざっ！

あざっ！
あざっ！
あざっ！

あざっ！
あざっ！
あざっ！

mm

mm

mm

mm

mm

けほつけほつ……
はあ——っはあ——っ
これで……満足ですもの？

余りの気持ち良さ
少々手荒になってしまった……

ハア……

ハア……

ハア……

トロ……♡





嗚呼……酷い……
衣服をビリビリに
破るなんて……

アリュ……

アリュ……

ドキ

アリュ……

ドキ

アリュ……

ドキ

アリュ……

ドキ

アリュ……

ブロロロロロ……
衣服を引き裂いた方が
興奮するのでね……
実際にいい牝の肉体だあ……

頂く...
無理強
いさせ
て
潜越
ながら
さら
タ王女
ジユの
エツ
だ
そ
の
通
り
だ
ブ
の
口
口
口
口
口

ヌヌヌ...

ヌメ...

ヒアァ!

ズイッ!

ヌメ...

ヌメヌメ

嫌あああ...
入れるの？
そのグロテスクな
肉棒を...
私の女陰に
挿入して陰に
しましますの？

ぐほおお……
なんと素晴らしい膣肉だ……
流石は王族の女陰だ……

ヌ

ガ
チュ!

ビクッ!

ビクッ!

キヤアアアッ!
イヤアアア!



いあああ……
いいえ……
あ……
ま……

あっ！
ひんやうやう！

ずほ、

ずほ、

ずほ、

プルン！

あ！

あん！
ヤッ！

可愛そうだが王女……
貴女の膺肉は……
牡の本能を狂わせる……

ずほ、

ず、

ずほ、

プルン！

おおう！
おおう！
射精しますぞっ
王女おおう！

どくん

やあア

ぐん

どくん

どくん

くはああつ！
だ：駄目え！





白濁液で汚されても
毅然とした美貌……
さすがだ……王女……

びくん♡

ハア
ハア

びくん♡

ゴポ…

びくん

ゴポッ!

ハア

はあはあはあ……
うくつ……
酷いで……

ゴッ

ズイッー!

精騎族と人間の
混血である
魔王女ジユリエッタよ……
魔族との子孫を
残すためだ
堪えてくれ……

そんな……
なんて身勝手な
理屈……

ちゅわん♡

く
うう……

うへへへ……
王女様の玉のお肌は
柔らかく……

乱交をしようと
肉体が活性化されて
妊娠しやすいという
風聞を聞いた……
試してみようでは
ないか……

うう……
そんな風聞は
迷信です……

アア……

ギニィ!

ギニィ!

魔王様っ!
こちらにはスタンバイ
OKでやんす!



おおおおお……！！
さすがは王族の姫君……
何度まぐわつても
この腔壁は至高の
愉悦である……

ズンズン……

うざっ！
うざっ！

ゲマッ！

うひょろろ
王女にフェラチオして貰うなんて
光栄のいたりでやんす

ズンズン



ぐふふふふ……
風間通り乱交の方が
良い気がする……

清楚な顔をして
案外と淫乱の気が
あるのかな？

はぶぶぶくぶつ……
うぐぐぐううう……
（そんな事……
ありませんわ）

ハア……

ハア……

又チュッ!

又チュッ!

又チュッ!

又チュッ!

又チュッ!

ふっふっ!

ふっふっ!

グググッ

グググッ

うほっ！お口の申も
最高の柔らかさでやっ……



ぐふっ！
射精するぞっ！
王女よっ！

ドムッ...

ドムッ！

ひゃああ！
うぶううう！

ドムッ！

ドムッ

あっしも果てる
でやんす〜



ふう~~~~

許してくれとは
言えんが.....

理解して
欲しい.....

う~~~~

酷いですわあ.....

ヒア.....

ドロ~~~~

ドロ~~~~

ヒア.....

えがった~~~~
役得でやんす~~~~



くびれた腰から豊満な臀部に至る
ラインのなぐんと艶やかなことか
さすがはジュウエツタ王女よ……

ウウ…

ドキ

ドキ

アリン!

そんな褒め言葉よりも
いかにこの触手の縛めから
解放して下さいませんか?





まなつ
まさか.....!

アハア...!

アマ...

それは出来ない相談だ.....
我が配下の触手魔獣の
魔羅触手も乙なものだぞ?

ズイッ

あぶらうらうらうツツツ!

ググッ!

おおおおお……
膣壁が肉幹に絡みつくと……
触手魔獣も喜んでおるぞ……

グググ...





うづぶぶっ！あぶあうづぶっ！
（嘘よ！そんな事っ！）

ニョッ
ニョッ

ふふふ…嫌がりながらも
貴女のおんこは濡れ始めておりますぞっ！

ヌキョッ

チュッ！

ズキョッ

ズポッ！



ふうふう〜！
さすがはシュウエツタ王女……
なんと極上の淫肉体であるか……

リア

リア

ドロ……

はあく〜はあく〜
ふうふうふう……
酷いわあ……

ドロ

ドロ……



やったああ……
美女二人ゲットだぜえ……

あん!

まゃあっ!
なにコレ……

うう……

くう……放しなまっ!

るん!

ニムニム……

ニムニム……

ニムニム……

ニムニム……



ウエヒヒヒヒ.....

女だあ.....おのんじだあ.....

まさか.....私達.....一緒に
凌辱されちゃうの??

イヤ...

ひっ!

ぞ"ぞ"ぞ"...

アマア...

アマア...

このペニスに似た触手を掴むん
だの.....さういふのん



きやあああああ！アソコに.....
アソコに入ってくる.....

アッ！

アッ！

はぐううう.....
やめなさいっ！

ビクッ！

ビクッ！

グッ.....
グッ.....

グッ.....
グッ.....

ヒツヤハア〜！
なんて具合のいい膣肉だあつ！

お願い……おっぱい……やめてえ……

ヒアア……

ダメエ……

こんな触手魔獣に
いよいよにされるなんて……

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！

アツチュツ！





いいぞっ射精るっ、射精るっうっうっうっ！

ひゃああああッ！

ビクッ!

ビクッ!

ブルッ!

ブルッ!

ビクッ!!

ビクッ!!

ドゥーッ

ドゥーッ...

イヤああああッ!

うげほっげほっ.....
うづつ.....汚いよう.....

くっ.....こんなスケべ魔獣に
いっ.....されるなんて.....



ウエヒヒヒヒ……
王女様とイOTAちゃん
のダブルおOんこだあ……

コラア……
この触手を
解きなさいっ！

うう……

ああ……
身動きが出来ませんわ

ヌル……

むちゅ……

ん♡

ヌル……

ヌルル……

これからの魔羅触手で
ダブルおんこを
可愛がってあげるからね〜

ちよっ！
やだあ.....

ヤ
アア...

お願いです
イ○タさんだけでも
堪忍してください.....

ヌッ!

ヌッ!



そんな……勿体ない
私よりも王女様を助けて……
きゅらう……！

ヤァ♡

ア♡

ひあああああつ！

ヌ
プ
プ
プ
……

おふう……
ダブルおのんこは最高だぜっ！



駄目あ……あふつ……
激しい……いん……
ん……いい……いい……!

ア……ン……

ヒ……ア……

ア……ア……

は……ん……う……つ……
……い……や……つ……
……どう……して……こ……ん……な……い……
……ひ……や……あ……う……!

ウエヒヒヒ……
興奮するぜえ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

ジュ……ホ……ッ……

うおおおおっ！
これは堪らん！射精するぞあー！

いやあアアアっ！

アア…！

アア

はっはっはっ…んん！



